

No.51 化政文化	年 組
	氏名

/12問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

- 18世紀後半、(①) は、日本古来の伝統を評価する「古事記伝」を著し、(②) を大成した。
- オランダ語でヨーロッパの文化などを学ぶ学問を(③) という。
- (④) らは、ヨーロッパの解剖書である「ターヘル・アナトミア」を翻訳して、「解体新書」を出版した。
- ヨーロッパの測量技術を取り入れて、(④) 全国の海岸線を測量し、正確な日本地図をつくった人物は(⑤) である。
- 19世紀初めの江戸を中心に発展した庶民をにない手とする文化を(⑥) という。
- (⑦) は、「婦女人相十品」などの美人画の錦絵をえがいた。また、(⑧) は、「富嶽三十六景」など、(⑨) は、「東海道五十三次」や「名所江戸百景」などの風景画の錦絵をえがいた。
- (⑩) は、俳諧(俳句)で風景を絵のように表現した。
- 諸藩が、武士に学問や武芸を教え、人材の育成を図るために設立した学校を(⑪) という。
- 町や農村に、右の図のような(⑫) が多く開かれ、庶民に読み・書き・そろばんなどの実用的な知識を教えた。



化政文化で発達した学問と芸術を中心に、作者と作品をまとめよう。



【解答】

- ① もとおりのりなが 本居宣長
- ② こくがく 国学
- ③ らんがく 蘭学
- ④ すぎたげんぼく 杉田玄白
- ⑤ いのうただたか 伊能忠敬
- ⑥ かせいぶんか 化政文化
- ⑦ きたがわうたまる 喜多川歌麿
- ⑧ かつしかほくさい 葛飾北斎
- ⑨ うたがわひろしげ 歌川広重
- ⑩ よきふそん 与謝蕪村
- ⑪ はんこう 藩校
- ⑫ てらこや 寺子屋